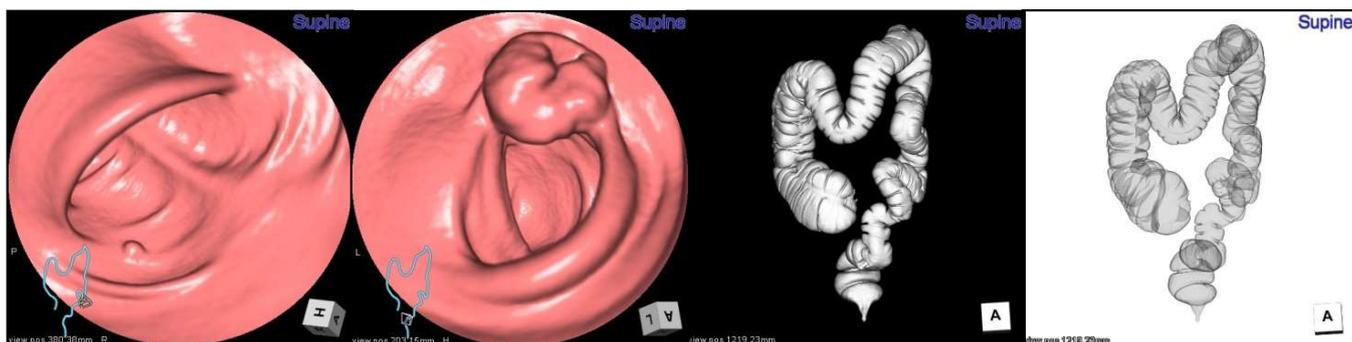


# 大腸 CT 検査のご案内

## 大腸 CT 検査とはどのような検査でしょうか

- ★ 大腸の中に内視鏡カメラを入れなくても、  
内視鏡カメラで大腸の中を覗いた様に見ることができる検査です。
- ★ 内視鏡検査やバリウム検査よりも、楽に大腸を調べることができます。
- ★ CT 装置で撮影します。 その画像から 3 次元画像を作成します。



### 長所

- 検査時間が短く(30分程度)、苦痛が少ないです。
- 臨床的に問題となる5mm以上のポリープは、はっきりと写すことができます。

### 短所

- 組織を採取することはできません。
- 5mmより小さい病変を見つける能力は、内視鏡よりも劣っています。
- 検査におけるチェック項目があり、その内容によっては出来ない場合があります。

### 検査方法

- ① 前日に検査食を食べていただきます。食後、少量のバリウムを飲みます。  
※ 例：昼食（カレー）、夕食（親子丼）
- ② 前日の就寝前と当日の朝に下剤を飲みます。
- ③ CT撮影前に肛門から細いチューブを挿入し、そこから炭酸ガスを入れて大腸を膨ませます。
- ④ うつ伏せと仰向けの状態でCT撮影を行います。(呼吸を止める動作があります)

詳しくお聞きしたい方はお気軽にご相談ください。

医療法人 緑十字会 高原中央病院

電話 095-821-1212